

平成 30 年度 音楽総合学科 カリキュラムマップ

〔管打楽器リペアコース〕

到達指標

1 [知識・理解]

音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。

- (1) 曲の調性や楽語について理解することができる。
- (2) 曲を理解するための歴史や作曲家についての必要な知識を身につけることができる。

2 [思考・判断・表現]

音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。

- (1) 楽譜を読み、書くことができる。
- (2) 演奏に適した調を判断し、必要に応じた移調ができる。

3 [技能]

音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。

- (1) 専門家として必要な演奏の技術、楽器修復技術などを身につけることができる。
- (2) 関係職種とコミュニケーションを取り、問題解決に取り組むことができる。

4 [関心・意欲・態度]

常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。

- (1) 積極的で継続した学びの態度を身につけることができる。
- (2) 音楽が人と人を結びつけるものであることを理解することができる。

① [知識、理解]

② [思考・判断・表現]

③ [技能]

④ [関心・意欲・態度]

1年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
基礎科目	通年	楽器奏法	△	△	◎	△
		楽器研究	◎	△	△	◎
専門科目	通年	リペア基礎(木管)	◎	◎	◎	○
		リペア基礎(金管)	◎	◎	◎	○
		リペア基礎(総合)	◎	◎	◎	○
		ウインドアンサンブルⅠ	◎	△	○	◎
		ウインドアンサンブルⅡ	◎	△	○	△
	後期	音楽総合特講Ⅰ	◎	○	△	○
選択科目	通年	ヴォーカル	△	○	◎	○
		吹奏楽理論	◎	△	△	◎

2年次

科目	期	科目名	①	②	③	④
専門応用科目	通年	リペア応用(木管Ⅰ)	◎	◎	◎	○
		リペア応用(木管Ⅱ)	△	◎	◎	△
		リペア応用(金管Ⅰ)	△	◎	◎	△
		リペア応用(金管Ⅱ)	◎	◎	◎	○
		ウインドアンサンブルⅠ	◎	△	○	◎
		ウインドアンサンブルⅡ	◎	△	○	△
		卒業研究	◎	◎	◎	○
		楽器奏法	△	△	◎	△
	楽器業界ビジネス	◎	○	△	◎	
	前期	楽器店実習	○	◎	○	◎
後期	打楽器リペア演習	○	△	○	○	
選択科目	通年	ホビュラーミュージック	△	◎	△	◎
	前期	音楽総合特講Ⅱ	◎	○	△	○